

## 資料紹介

世界諸地域・諸民族の文化を調べる…

### HRAF 資料について

附属図書館3階特殊資料室に入って右側にスチール製キャビネットが多数並んだ一角があります。

これが、HRAF(フラフ)(Human Relations Area Files)と呼ばれているものです。

附属図書館におけるHRAFの歴史は、1962年5月、本学がHRAFの正式メンバーに選ばれ、アメリカのエール大学におかれているHRAF本部から膨大な資料が送られて来たことに始まりです。

HRAFは「人間の文化や社会を研究するあらゆる科学にたいし、資料収集と研究成果公開の便宜を図ること」を目的とし、比較文化の観点から、世界の諸民族・諸地域の社会を対象に実証的な研究業績を集め、それらをHRAF独自の手法で体系的に整理した資料群です。

資料は主に現地調査をしてまとめられた単行本・雑誌等から優れた研究業績の各頁を写真に撮り、1枚ずつのスリップ(20.5×12.5cm)にしてバラされています。膨大なスリップ(約350万枚のハードプリントと1985年以降はマイクロフィッシュ)はエール大学のマードック教授(G. P. Murdock)の指導によって作成されたHRAF独自の分類表によって配列されていることが大きな特徴です。

第一の分類表は、OWC(Outline of World Culture)で世界を大きく8地区に分け、更にすべての民族や地域社会が番号別に分けられています。

第二の分類表は、OCM(Outline of Cultural Materials)で、世界共通の人間行動に関する分類表として考えられ、あらゆる文化やその背景となる情報を2桁の数字で分け、更に1から9までの数字を加えた637の小区分に分けられています。

<例> 58 婚姻

- 581 婚姻の基礎
- 582 婚姻規制
- 583 婚姻の様式
- 584 婚姻成立までの諸習慣
- 585 婚姻儀礼

- 586 婚姻の解消
- 587 再婚
- 588 変則的結婚関係
- 589 独身

各1枚のスリップには、①原典資料(ソース)番号、②著者名、③著者の専攻、④資料評価、⑤現地調査年次、⑥出版年次、⑦ソースの地域分類、⑧社会名、⑨カードの地域分類、⑩事項別分類(複数)が付されています。

HRAFは、人類学、民族学、社会学等の比較研究や分布研究を行うにあたり、有力な手段となることでしょう。一見、冷たい感じを与えるスチールキャビネットのなかから、人間社会の諸側面が浮かび上がってくることでしょう。

スペースの関係で内容を相当割愛しました。より詳しい内容は、下記のマニュアルや参考資料をご覧ください。

- ・Outline of World Cultures (OWC)
- ・Outline of Cultural Materials (OCM)
- ・HRAF Source Bibliography : Cumulative  
現在ファイルされているすべての図書、記事、原稿のリスト。OWCコード順にリストされている。地名索引、著者名索引付。
- ・Index to the HRAF Files  
ある特定の事項に関する記事が、どの資料の何頁に載っているかを示すOCM事項別索引。
- ・Nature and use of the HRAF Files : A Research and Teaching Guide  
HRAFの性格と使用方法について例を用いながら説明したガイドブック
- ・Sixty Cultures: A Guide to the HRAF Probability Sample Files
- ・A Guide to Social Theory: Worldwide Cross - Cultural Tests
- ・HRAF Holographic Computer Program Library (HRAFLIB) (木村伸夫)